スーパーバイザの show module コマンドに表示 されない MSFC の回復方法

内容

概要 前提条件 要件 使用するコンポーネント 表記法 回復手順 MSFC が ROMMON 状態にある場合 MSFC にブート コマンドがない、または不正確な場合 MSFC の IOS ソフトウェア イメージが破損している、または存在しない場合 MSFC に誤ったコンフィギュレーション レジスタが設定されている場合 MSFC がブート モードのままである場合 シャーシ内のデュアル スーパーバイザ エンジンのスタンバイ側のスーパーバイザ エンジン MSFC を回復する 関連情報

<u>概要</u>

このドキュメントでは、Catalyst 6500/6000 Supervisor Engine の show module コマンド出力に マルチレイヤ スイッチ フィーチャ カード(MSFC)が表示されない状態または other 状態になっ た場合の復旧方法について説明します。多くの場合、MSFC の設定が変更されてからスーパーバ イザがリロードされた時に発生します。MSFC が other 状態になる現象は、多くの場合 MSFC の 設定が変更されてからスーパーバイザがリロードされなかったことが原因となっています

前提条件

<u>要件</u>

シスコでは、このセクション内の情報についての知識があることを推奨します。

次に、MSFC が表示されない場合の show module コマンドの出力の例を示します。

Cat6500 (enable) **show module**

Mod	Slot	Ports	Module-Type	Model	Sub	Status
1	1	2	1000BaseX Supervisor	WS-X6K-SUP1A-2GE	yes	ok

1 SAD040200B3

Cat6500 (enable) session 15

Module 15 is not installed.

次に、MSFC が other show module コマンドの出力例を示します。

Cat6500 (enable) show module

ModSlotPortsModule-TypeModelSubStatus1121000BaseXSupervisorWS-X6K-SUP1A-2GEyesok1511MultilayerSwitchFeatureWS-F6K-MSFCnoother

Cat6500 (enable) session 15

Trying Router-15... !--- The session is not created. Press Ctrl-C to escape.

注:この例では、スーパーバイザエンジンとMSFCはスロット1にあります。したがって、 MSFCに接続するには**session 15コマンドを発行する必要があ**ります。MSFC がスロット 2 にあ る場合、MSFC に接続するには **session 16 コマンドを発行します。**

このリストは、show module コマンドの出力に MSFC が表示されない、または other 詳細および 回復手順に関しては、このドキュメントの対応するセクションを確認してください。

- MSFC が ROM モニタ(ROMMON)状態にある場合。
- MSFC にブート コマンドがない、または不正確な場合。
- MSFC の IOS® ソフトウェア イメージが破損している、または存在しない場合。
- MSFC に誤ったコンフィギュレーション レジスタが設定されている場合。
- <u>MSFC がブート モードのままである場合。</u>

<u>使用するコンポーネント</u>

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるもの ではありません。

<u>表記法</u>

ドキュメント表記の詳細は、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。

回復手順

<u>MSFC が ROMMON 状態にある場合</u>

このセクションの出力は、MSFC が ROMMON 状態にある場合の show module コマンドからの ものです。

注:次のセッションコマンドのいずれかを**発行して**ください。

- 回復したい MSFC がスーパーバイザ エンジン モジュール スロット 1 に物理的に存在する場合、session 15 コマンドを発行します。
- MSFC がスロット 2 にある場合、session 16 コマンドを発行します。

注:スタンバイ側のスーパーバイザエンジンのMSFCにアクセスできない場合は、先に進む前に 、このドキュメントの「デュアルスーパーバイザエンジンでスタンバイ側のスーパーバイザエン ジンのMSFCを回復する方法」セクションを参照してください。

Cat6500 (enable) session 15

Trying Router-15...

Cat6500> (enable) **show module 15** Module 15 is not installed.

この手順では、ROMMON 状態にある場合の MSFC の回復方法について説明します。

- コンソール ポート接続でスーパーバイザ エンジンに接続します。注:Telnet経由で接続し ないでください。
- 2. ステップ 2: プロンプトに switch console コマンドを入力します。 Cat6500 (enable) switch console

Trying Router-15... Connected to Router-15. Type ^C^C^C to switch back... !--- Press Enter here.

rommon 1 >

ROMMON 状態の MSFC にアクセスすることができる場合、ステップ 13に進んでください 。

 ステップ2に示されているように、ROMMON にアクセスできない場合、これらの手順を完 了してください。スーパーバイザ エンジン スイッチをリセットします。スイッチをリセッ トした後、スーパーバイザ エンジンのコマンド プロンプトにアクセスできるようになった らすぐに switch console コマンドを発行してください。起動途中の MSFC にアクセスでき ます。すぐに Ctrl を押した状態で Break を押し、MSFC の ROMMON にアクセスしてくだ さい。MSFC の [rommon] > [prompt] 13 注:入力するブレークシーケンスは、使用するタ ーミナルエミュレーションソフトウェアとオペレーティングシステムによって異なります。 たとえば、Microsoft Windows 2000 の HyperTerminal ではブレーク シーケンスとして Ctrl+Break を使用します。詳細については、パスワードの回復時に使用する標準的なブレー クキーシーケンスの組み合わせを参照してください。MSFC の ROMMON ヘアクセスでき なければ、スイッチの電源を落とし、MSFC のブートフラッシュを物理的に取り外します。 これらの図は、赤い矢印で物理的なブートフラッシュの場所を示しています。MSFC のブー トフラッシュの場所



4. スイッチで電源を再投入し、MSFC ROMMON にアクセスするために switch console コマン ドを発行します。注:出力が画面にスクロールする場合、またはrommon >は、MSFCにブレ ークシーケンスを送信してください。詳細は、<u>パスワード回復中の標準的なブレーク キー</u> シーケンスの組み合せを参照してください。

5. プロンプトに set コマンドを入力して、ROMMON ブート変数の現在の値を表示します。 rommon 2 > set

```
PS1=rommon ! >
BOOTLDR=bootflash:c6msfc-boot-mz.121-6.E
BOOT=bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-6.E,1;?=1
```

 BOOT= コマンドおよび BOOTLDR= コマンドを使用して、BOOT および BOOTLDR 変数を リセットします。注:これらのコマンドでは大文字と小文字が区別されます。
 ronmon 2 > BOOT=

rommon 3 > **BOOTLDR=**

- 7. コンフィギュレーション レジスタを 0x0 に設定するには、confreg 0x0 コマンドを発行します。
 す。注:このコマンドは大文字と小文字が区別されます。
 rommon 4 > confreg 0x0
- 8. プロンプトで、sync コマンドを発行してブートとコンフィギュレーション レジスタの設定 を同期してから、reset コマンドを発行します。

rommon 5 > **sync**

rommon 6 > reset

System Bootstrap, Version 12.0(3)XE, RELEASE SOFTWARE Copyright (c) 1998 by cisco Systems, Inc. Cat6k-MSFC platform with 131072 Kbytes of main memory

9. MSFC のリセット後、set コマンドを発行して設定が保存されたことを確認します。 rommon 1 > set

```
PS1=rommon ! >
BOOT=
BOOTLDR=
CONFREG=0x0
```

- 10. ステップ 11: スイッチ電源を落として、MSFC ブートフラッシュをもう一度挿入します。
- 11. スイッチの電源を再投入し、MSFC にアクセスするために switch console コマンドを発行 します。
- 12. dir bootflash: **コマンドを発行します**このコマンドは、MSFC ブートフラッシュのコンテン ツを表示します。

rommon 1 > **dir bootflash:**

File size Checksum File name
1730952 bytes (0x1a6988) 0x880dbda7 c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin
12212028 bytes (0xba573c) 0xbe32bc20 c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2

 13. boot bootflash: コマンドを発行します。MSFC を起動するためのコマンドです。適切なシ ステム イメージ (jsv、dsv、isv)を指定します。これらは dir bootflash:コマンド出力で表 示されるものです。注:ファイル名に「boot」を含むイメージを指定しないでください。
 rommon 1 > boot bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2

4096K bytes of packet SRAM memory. 16384K bytes of Flash internal SIMM (Sector size 256K).

14. Return を押して開始します。

このプロシージャで MSFC を回復できない場合、Cisco Technical Support に連絡してください。

MSFC にブート コマンドがない、または不正確な場合

設定が保存されていない場合や、ブート コマンドが正しく設定されていない場合、MSFC は正常 に起動しません。このセクションは、ブート コマンドがない、またはブート コマンドが正しくな い MSFC からのコマンド出力の例と、この問題を解決するための手順の詳細を示します。

MSFC#dir bootflash:

Directory of bootflash:/ 1 -rw- 1730952 Mar 27 2001 13:11:10 c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin 2 -rw- 12212028 Jul 16 2001 10:52:05 c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2 15990784 bytes total (2047548 bytes free)

MSFC#**show run**

Building configuration... Current configuration : 274 bytes ! version 12.1 service timestamps debug uptime service timestamps log uptime no service password-encryption ! hostname MSFC ! boot system flash bootflash:c6msfc-wrong-image.bin

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1. ステップ 1: 正しく設定されていない boot コマンドを削除します。 MSFC(config)#no boot system flash bootflash:c6msfc-wrong-image.bin
- 2. ステップ 2: 正しい boot コマンドを設定します。 MSFC(config)#boot system flash bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2

MSFC(config)#**^Z**

MSFC#
00:04:23: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console

```
MSFC#show run
```

```
Building configuration...

Current configuration : 275 bytes

!

version 12.1

service timestamps debug uptime

service timestamps log uptime

no service password-encryption

!

hostname MSFC

!

boot system flash bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2
```

注: MSFC をリロードする前に必ず設定を保存してください。write memory コマンドまたは copy running-config startup-config コマンドを発行します。

bootldr boot 次に bootldr

MSFC#dir

Directory of bootflash:/ 1 -rw- 1730952 Mar 27 2001 13:11:10 c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin 2 -rw- 12212028 Jul 16 2001 10:52:05 c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2 15990784 bytes total (316064 bytes free)

MSFC#**show** run

Building configuration... Current configuration : 326 bytes ! version 12.1 service timestamps debug uptime service timestamps log uptime no service password-encryption ! hostname MSFC ! boot system flash bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2 boot bootldr bootflash:c6msfc-wrong-boot-image.bin

MSFC#configure terminal

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

MSFC(config) #no boot bootldr bootflash:c6msfc-wrong-boot-image.bin

MSFC(config) #boot bootldr bootflash:c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin

MSFC(config)#^Z

MSFC#show run

```
00:13:05: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by consolen
Building configuration...
Current configuration : 326 bytes
!
version 12.1
service timestamps debug uptime
service timestamps log uptime
no service password-encryption
!
hostname MSFC
!
boot system flash bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2
boot bootldr bootflash:c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin
```

<u>MSFC の IOS ソフトウェア イメージが破損している、または存在しない場合</u>

boot 変数が正しいにもかかわらず MSFC がロードしない場合、Cisco IOS ソフトウェア イメージが破損しているか存在しない可能性があります。

リロード後に MSFC が起動するのを確認するには switch console コマンドを発行します。これは、ブート問題の診断に役立ちます。そのためには物理的なコンソール接続が必要です。MSFC の セッションがリロード時に失われるのは、session {15 | 16}コマンドを発行します。

verify コマンドを使用して、IOS イメージの完全性をチェックします。

MSFC#**dir**

Directory of bootflash:/ 1 -rw- 1730952 Mar 27 2001 13:11:10 c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin 2 -rw- 12212028 Jul 16 2001 10:52:05 c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2 15990784 bytes total (316064 bytes free)

MSFC#verify c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2

また dir コマンドまたは show bootflash:コマンドで出力されるファイル サイズを比較することも できます。正しいファイルサイズは、ソフトウェアダウンロードセン<u>ター(登録ユーザ</u>専用)で参 照できます。

MSFC のブート変数、イメージの完全性、<u>コンフィギュレーション レジスタ</u>に問題がないにもか かわらず正常に起動しない場合、フラッシュ デバイスに問題がある可能性があります。Flash デ バイスを交換する前に、format bootflash: **コマンドを発行して、**デバイスをフォーマットします 。TFTP で新しいイメージをダウンロードしてフォーマットを完了します。

注:TFTPを使用して、ソフトウェアイメージファイルをPCからデバイスに転送できます。この ドキュメントでは、Cisco TFTP サーバ アプリケーションからの出力を使用しています。シスコ ではこのアプリケーションをすでに打ち切っており、現在はサポートしておりません。TFTP サ ーバがない場合は、サードパーティの TFTP サーバ アプリケーションを他の供給元から入手して ください。

注意:フラッシュデバイスをフォーマットする場合は注意してください。新しいイメージをダウ ンロードする前に MSFC をリロードした場合、Xmodem を使用して MSFC を回復する必要があ ります。Flash デバイスをフォーマットし、イメージを置き換えても機能しない場合は、Flash デ バイスの交換を検討してください。

MSFC に誤ったコンフィギュレーション レジスタが設定されている場合

コンフィギュレーション レジスタは、他の変数と同様に MSFC の起動条件を設定する値です。 show boot コマンドまたは show version コマンドを発行してこの値を検証します。

MSFC#**show boot**

BOOT variable = bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2,1
CONFIG_FILE variable =
BOOTLDR variable = bootflash:c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin
Configuration register is **0x102**

MSFC#**show version**

Cisco Internetwork Operating System Software IOS (tm) MSFC Software (C6MSFC-JSV-M), Version 12.1(8a)E2, EARLY DEPLOYMENT RELEASE SOFTWARE (fc1) TAC Support: http://www.cisco.com/tac Copyright (c) 1986-2001 by cisco Systems, Inc. Compiled Fri 03-Aug-01 14:23 by hqluong Image text-base: 0x60008950, data-base: 0x61928000 ROM: System Bootstrap, Version 12.0(3)XE, RELEASE SOFTWARE BOOTFLASH: MSFC Software (C6MSFC-BOOT-M), Version 12.1(6)E1, EARLY DEPLOYMENT RELEASE SOFTWARE (fc1) MSFC uptime is 3 minutes System returned to ROM by reload at 19:20:19 UTC Sun Sep 3 2000 Running default software cisco Cat6k-MSFC (R5000) processor with 57344K/8192K bytes of memory. Processor board ID SAD04010CCY R5000 CPU at 200Mhz, Implementation 35, Rev 2.1, 512KB L2 Cache Last reset from power-on Bridging software. X.25 software, Version 3.0.0. SuperLAT software (copyright 1990 by Meridian Technology Corp). TN3270 Emulation software. 123K bytes of non-volatile configuration memory. 4096K bytes of packet SRAM memory. 16384K bytes of Flash internal SIMM (Sector size 256K). Configuration register is **0x102**

コンフィギュレーション レジスタ変数を変更した後、MSFC(または Cisco ルータ)設定をメモ リに書き込む必要は*ありません。*正しいコンフィギュレーション レジスタ設定は 0x102 と 0x2102 がとなります。

このコマンド出力例は、コンフィギュレーション レジスタを修正する方法を示しています。

MSFC#**show boot**

BOOT variable = bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2,1
CONFIG_FILE variable =
BOOTLDR variable = bootflash:c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin
Configuration register is **0x0**

MSFC#configure terminal

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

MSFC(config)#config-register 0x102

MSFC#**show boot**

BOOT variable = bootflash:c6msfc-jsv-mz.121-8a.E2,1 CONFIG_FILE variable = BOOTLDR variable = bootflash:c6msfc-boot-mz.121-6.E1.bin Configuration register is 0x0 (will be 0x102 at next reload) Config-register コマンドの詳細はブート コマンドを参照してください。

<u>MSFC がブート モードのままである場合</u>

MSFC は次のいずれかの理由でブート モードのままになる場合があります。

- フラッシュ上のイメージの実際のファイル名と boot コマンドで使用されるファイル名が不一
 致
- •ブート コマンドが正しくない
- •コンフィギュレーション レジスタ値が正しくない
- Cisco IOS ソフトウェア イメージが破損しているまたは存在しない

<u>回避策</u>

- フラッシュ上のイメージの実際のファイル名と boot コマンドで使用されるファイル名が一致していない場合、一致させてから MSFC を再起動します。
- ・ブート コマンドが正しくない場合、MSFC にブート コマンドがない、または不正確な場合セクションの手順を実行します。
- コンフィギュレーション レジスタが正しくない場合は、MSFC に誤ったコンフィギュレーション レジスタが設定されている場合セクションの手順を実行します。
- Cisco IOS ソフトウェア イメージが破損している、または存在しない場合、MSFC の IOS ソ フトウェア イメージが破損している、または存在しない場合の手順を実行します。

<u>シャーシ内のデュアル スーパーバイザ エンジンのスタンバイ側</u> のスーパーバイザ エンジン MSFC を回復する

このドキュメントでここまで説明した回復プロシージャは、シングルまたはデュアル スーパーバ イザ エンジンが搭載されたシャーシ内のアクティブなスーパーバイザ エンジンに属する MSFC の回復に適用されるものです。デュアル スーパーバイザ エンジンのスイッチでは、スタンバイ側 のスーパーバイザ エンジンのコンソールはロックされ、アクティブなスーパーバイザ エンジンの コンソールのみ使用できます。MSFC には物理的な外部コンソール ポートがないため、アクティ ブなスーパーバイザ エンジン MSFC のコンソールにアクセスするには switch console コマンド を発行する必要があります。

注:このセクションの例では、アクティブ側のスーパーバイザエンジン/MSFCはスロット1にあり、スタンバイ側のスーパーバイザエンジン/MSFCはスロット2にあります。スタンバイ側のス ーパーバイザエンジン/MSFCがスロット1にあり、アクティブ側のスーパーバイザエンジン /MSFCがスロット2にある場合は、「15」に置します。

モジュール 16 として表示されるスタンバイ側のスーパーバイザ エンジン内の MSFC を回復する には 2 つのオプションがあります。

- 現在のアクティブなスーパーバイザ エンジンから switch supervisor コマンドを発行し、 MSFC を回復するスーパーバイザ エンジンをアクティブにします。このコマンドで2番目 のスーパーバイザ エンジンにフェールオーバーします。以前のスタンバイ側のスーパーバ イザ エンジンがアクティブなスーパーバイザ エンジンになり、コンソールにアクセスでき るようになるため、回復手順を実行できます。This method is straightforward, but it does have a disadvantage.この手順により、MSFC が回復するまでネットワーク運用が中断する 場合があります。そのためこの方法は、スケジュールされたメンテナンス時間帯、またはネ ットワーク運用があまり必要ない状況で使用してください。予備のシャーシを使用できる場 合、現在のシャーシからスタンバイ側のスーパーバイザ エンジンを外し、予備のシャーシ に設置して回復することができます。この場合、実稼働中のスイッチの現在の運用に悪影響 はありません。
- 2. これは、スタンバイ側のスーパーバイザ エンジンで MSFC を回復する際にネットワーク ダ

ウンタイムが発生しない、影響の少ない方法です。スタンバイ側のスーパーバイザ エンジ ン MSFC のコンソールにアクセスするには、アクティブなスタンバイ スーパーバイザ エン ジンから switch console 16 コマンドを発行します。このコマンドは、回復する必要がある MSFC 用のスタンバイ側のスーパーバイザ エンジン コンソールをアクティブにします。端 末をスタンバイ側のスーパーバイザ エンジンのコンソールに接続します。次に、回復手順 を使用してアクティブなスーパーバイザ エンジン MSFC を回復します。

MSFC の回復が完了したら、Ctrl **を押した状態で C を 3 回押して、アクティブなスーパーバイザ** エンジン上のコンソール ポートを再アクティブ化します。 スタンバイ側のスーパーバイザ エンジ ンのコンソールは以前と同様に再度ロックされます。

関連情報

- <u>最初の MSFC ブート</u>
- <u>パスワード復旧中の標準的なブレーク キー シーケンスの組み合わせ</u>
- LAN 製品に関するサポート ページ
- ・LAN スイッチングに関するサポート ページ
- ・ <u>テクニカル サポートとドキュメント Cisco Systems</u>